



学校だより

学校目標

・えがお
・あいさつ
・まなびあい



2026年9月1日
藤沢市立鶴洋小学校
9月号

「なんだろう？」から始まる学び

校長 瀧谷 典子

先日、市の教育文化講演会で、日本野鳥の会会長で立教大学教授の上田恵介先生のお話を伺いました。テーマは「探究する心を育てるために～身近な疑問が出発点～」。動物行動学者として、長年、鳥の行動を研究されてきた先生のお話には、子どもたちの学びを考える上で、多くの示唆がありました。

中でも興味深かったのが、カッコウの「托卵」のお話です。カッコウは、自分では巣をつくらず、ほかの鳥の巣に卵を産みます。孵化したひなは、まだ目も開かないうちに、もともと巣にあった卵を背中にのせ、せっせと巣の外へ押し出してしまうそうです。そして、自分だけが巣に残り、親代わりとなった鳥から餌をもらって成長していきます。

「なぜ、こんなことができるのだろう。」「どうして、こんな行動をするのだろう。」上田先生は、探究心とは好奇心であるとおっしゃっていました。

「不思議だな」「なんだろう」「もっと知りたい」。そんな小さな気づきこそが、探究の出発点なのだと思います。

そして、大切なのは、子どもが疑問をもったときに、大人がすぐに答えを用意することではなく、一緒に不思議がることだと話されました。

道端で虫を見つけたら、「この虫は何を食べるんだろうね」。空を飛ぶ鳥を見て、「どこへ行くのかな」。雨上がりの水たまりを見て、「昨日より小さくなったね。水はどこへ行ったんだろう」。答えを知らなくてもよいのです。「わからないね。もう少し見てみようか」「調べてみようか」と一緒に立ち止まる。そんな大人との関わりが、子どもの「もっと知りたい」を育てていくのだと思います。

先生のお話では、動物の子どもたちはたくさん遊ぶということにも触れられていました。遊びの中では、やってみて、失敗して、もう一度やってみます。思いがけないことに気づいたり、やり方を変えたり、うまくいったことをもう一度試したりします。遊びの中には、探究につながる経験がたくさんあります。

もう一つ、心に残ったお話があります。上田先生は、種類の違う鳥が羽を広げて威嚇する姿を観察する中で、羽の模様がよく似ていることに気づき、「もしかすると、同じ起源をもつ鳥なのではないか」と考えたそうです。その後、別の研究者がDNAを調べ、実際に同じ起源をもつことを明らかにしました。

自分のほうが先に気づいていたのに悔しくなかったのだろうかと思いますが、先生は、「自分の見る目は間違っていなかった」と、むしろ嬉しく思ったと話されました。そこで紹介されたのが、ニュートンの「巨人の肩の上に立つ」という言葉です。新しい発見は、決して一人だけの力で生まれるものではありません。それまでに多くの人々が積み重ねてきた研究や発見、時にはうまくいかなかった経験も共有し、それを土台として、次の人がさらに先へ進んでいく。研究とは、そうした営みなのだそうです。

これは、子どもたちの学びにも通じます。

友達の考えを聞いて、「そういう見方もあるのか」と気づく。誰かの発言から、「では、これはどうなのだろう」と新しい疑問が生まれる。うまくいかなかった方法を知って、別の方法を試してみる。学ぶことは、誰かより早く正解にたどり着くことだけではなく、互いの気づきや考えをつなぎながら、一人では見えなかったところまで進んでいくことでもあります。

2学期も、子どもたちには、急いで「正解」にたどり着くことだけではなく、よく見ること、不思議に思うこと、試してみること、失敗して考え直すこと、そして友達の考えから学ぶことを大切にしてほしいと思います。

私たち大人も、「勉強しなさい」「早く答えを出しなさい」と急がせるのではなく、ときには子どもの隣で立ち止まり、「おもしろいことに気づいたね」「どうしてそう思ったの?」「本当だ。不思議だね」「もう少し見てみようか」

そんな言葉をかけてみたいものです。

誰もが見ているものの中にも、まだ誰も気づいていないことがある。よく見て、「なんだろう?」と心を動かすことから、新しい学びは始まります。

子どもたちの「なんだろう?」を、すぐに答えを教えるのではなく、学校でも家庭でも一緒に考えたり、不思議がったりする。そして、一人ひとりの気づきをみんなの学びへとつなげていく。そんな2学期にしていきたいと思います。

創立 80 周年記念 航空写真のデザインが決まりました

1 学期に各クラスから出されたデザインの中から、全校児童一人一人が一票を投じ、みんなの投票によって選ばれたデザインです。

デザインには、白い鳥が描かれています。地域の歴史には、地名にある「鵜」は、昔、この地の沼に白い鳥が降り立ったことに由来すると記されています。80 周年を迎えるこの機会に、私たちが暮らし、学ぶこの地域の歴史にも思いを寄せながら、みんなで一つの大きな絵をつくります。

撮影は 9 月 30 日（水）を予定しています。全校児童と職員が校庭に並び、一人一人が頭上に色紙を掲げ、ドローンで上空から撮影します。きれいな一枚の絵を完成させるためには、みんなで力を合わせ、撮影の間は動かずに協力することが大切です。

80 周年の節目に、みんなでつくる一枚の写真。この地域をこれからも大切にしていきたいという思いも込めた、記念に残る一枚になればと思います。

なお、撮影した航空写真は、後日インターネットでの販売を予定しています。詳細については、改めてお知らせいたします。



通学区域の見直しについて — 新たな通学区域案と地域説明会 —

藤沢市教育委員会では、より良い教育環境を整えるため、市の計画に基づき、令和 6 年度から市立小・中学校の通学区域の見直しについて検討を重ねてきました。

市では、学校規模について、12 学級から 24 学級を適正規模、31 学級以上を過大規模と位置づけています。今回の見直しでは、過大規模校の解消を最優先としながら、通学距離や地域のつながりなども考慮して検討が進められてきました。

また、見直しにあたっては、保護者や地域の皆様にも参加いただくワークショップを開催し、様々な立場から意見を伺いながら検討が重ねられてきました。

こうした検討を経て、このたび、新たな通学区域案が示されました。

本校も見直しの対象校となっており、現在の本校の通学区域の一部が、他校の通学区域となる案も含まれています。新たな通学区域がどのようになるのかは、保護者・地域の皆様にとって関心の高いところだと思います。

今回示されたものは現段階での案であり、決定したものではありません。

通学区域案を示した地図については、9 月 8 日（火）の市議会への説明後、市ホームページに掲載される予定です。

また、市教育委員会では、この案についてお知らせし、ご意見を伺うため、9 月から 10 月にかけて地域説明会を開催します。

鵜沼市民センターでの説明会は、次の日程で予定されています。

9 月 17 日（木）・9 月 29 日（水）19 時 30 分～21 時 00 分

10月4日(日)・10月25日(日) 10時00分～12時00分

新たな通学区域は、令和10(2028)年4月に小学校へ入学するお子様からの適用が予定されています。中学校については、新たな通学区域が適用された児童が中学校へ進学する令和16(2034)年4月からの適用が予定されています。

在校生やきょうだいの取扱い、中学校進学時の通学区域など、様々な疑問をお持ちの方もいらっしゃると思います。詳しい内容については、今後公表される市ホームページや地域説明会でご確認ください。

なお、本校は通学区域見直しの対象校であることから、本校での説明会の開催についても市教育委員会にお願いしています。詳細が決まりましたら、改めてお知らせします。

通学区域の見直しや地域説明会の詳細については、藤沢市ホームページをご確認ください。

「藤沢市立学校適正規模・適正配置に向けた取組」↓

<https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kosodatekyouiku/kyoiku/tekisei/index.html>

地域の皆さんと一緒に学校をきれいに

9月26日土曜日に、地域や保護者の皆様のお力をお借りして、校地内の側溝清掃を行います。

日頃、校庭を利用しているサッカーや野球のチームの関係の皆様をはじめ、PTAのお掃除サークル、子どもたちの見守り活動に携わってくださっている方々、他校の「親父の会」の皆様など、多くの方が力を貸してくださる予定です。

学校のためにお力添えいただけることを、大変ありがたく思っています。

今回の清掃には、広く保護者の皆様にもご参加いただきたいと思います。また、子どもたちも参加できます。

子どもたちにとって、地域や保護者の方々が学校のために汗を流す姿を間近で見ることは、とてもよい経験になります。「大人が一生懸命働く姿ってカッコいいな」「一緒に体を動かすと楽しいな」。そんな気持ちが、自分たちの学校や地域を大切に思い、自分にもできることがあると気づくきっかけになるのではないのでしょうか。

誰かのために力を貸すこと、みんなが使う場所をみんなで大切にすること。大人も子どもも一緒に汗を流しながら、そんなことを自然に感じられる時間になればと思います。

日頃から学校を支えてくださっている皆様に、改めて心より感謝申し上げます。

保護者の方だけでも、親子でも、ぜひご参加ください。皆様のお力をお借りできれば大変ありがたいです。

詳細については、別途配付するお知らせをご覧ください。

2学期も、たくさんの学びと体験を

2学期が始まりました。今学期も、日々の授業はもちろん、遠足や鑑賞教室、運動会など、子どもたちが友達と一緒に学び、感じ、挑戦する機会がたくさんあります。9月下旬には、6年生の修学旅行も予定されています。

学校行事には、普段の教室での学習とはまた違った学びがあります。

友達と相談したり、力を合わせたり、自分の役割を果たしたりする中で、一人では得られない経験を重ねていきます。

また、いつもとは違う場所に出かけたり、本物の芸術に触れたりすること、新しい発見や興味につながります。

一つ一つの体験を、子どもたちの成長につながる大切な機会にしていきたいと思います。

2学期も、子どもたちがどんな姿を見せてくれるのか楽しみです。



9月の行事予定



日	曜	予 定	授業時間数					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	火	始業式 下校指導	3	3	3	3	3	3
2	水	下校指導	3	3	3	3	3	3
3	木	給食開始 修学旅行保護者説明会PM（体育館） 6年計測	4	4	4	4	4	4
4	金	5年計測 6年お楽しみ会	4	4	4	4	5	5
5	土							
6	日							
7	月	ロング昼休み(掃除無し) 1年お話しボランティア 2年お楽しみ会 4年計測	4	5	5	6	6	6
8	火	3年計測	5	5	6	6	6	6
9	水	委員会④ 2年計測	4	4	4	4	5	5
10	木	1年計測 2年お楽しみ会(予備日)	5	5	6	6	6	6
11	金	6年修学旅行前検診	4	5	5	6	6	6
12	土							
13	日							
14	月	運動会スローガン決定	5	5	5	6	6	6
15	火	PTA運営委員会	5	5	6	6	6	6
16	水	下校指導	4	4	4	4	4	4
17	木		5	5	6	6	6	6
18	金		5	5	6	6	6	5
19	土							
20	日							
21	月	◆敬老の日						
22	火	◆国民の休日						
23	水	◆秋分の日						
24	木	6年修学旅行1日目 PTA給食試食会	5	5	6	6	6	6
25	金	6年修学旅行2日目	5	5	6	6	6	6
26	土	側溝清掃8時30分から						
27	日							
28	月	3年お話しボランティア	5	5	5	6	6	4
29	火	運動会係打合せ 代表委員会 第3回学校運営協議会	5	5	5	5	6	6
30	水	航空写真 クラブ④	4	4	4	4	5	5



下校時刻 4校時 13:25、5校時 14:45、6校時 15:35（委員会 14:15、クラブ 14:30 終了）